

資料

岡山市岡山工業用水道事業の紹介

○事業の趣旨

岡山工業用水の供給は、従来上水道の給水計画の中に包含されてきたが、昭和30年代に入ると市の南部が工業地帯として発展してきたこと及び岡山市が工業都市として発展するための工場誘致に資するうえからも、豊富で低廉な工業用水を供給する専用工業用水道の建設が必然的に要請されるに至った。

○事業の経緯

岡山工業用水道事業は、岡山市が工業都市として発展するための工業誘致を目的に昭和33年12月に着工され、昭和41年3月に完了し、同4月から5事業所に送水を開始した。

昭和40年の繰越工事として、岡南地区に送水管を布設し、送水管布設工事は完了した。また、取水施設に、取水井を増設するとともに、浄水場と工業用水道ポンプ場間に遠隔操作を施し、更に工業用給水先への工事として配水管を布設した。

その後、新規給水先への給水のため配水管を布設したが、昭和50年頃を境に景気は低成長期時代に入り、大型企業の進出も望めないまま現在に至っており、各施設の維持管理に重点を置いた運営になっている。

現在は、7事業所に給水している。

○ユーザーの概要

(平成18年12月末現在)

業種	給水件数	契約水量 (m ³ /日)
非鉄金属製造業	1	2,800
製糖業	1	4,400
繊維板等の製造	1	6,000
板紙業	1	15,000
塵芥処理 (焼却)	1	450
リサイクル業	1	167
食品加工業	1	270
合計	7	29,087

○施設の概要

岡山地区工業用水道事業は、旭川の伏流水を中洲に設置してある11井の取水井より取水し、工業用水ポンプ場から直接南部の工業地域へ配水を行っている。給水能力は100,000m³/日、配水管路は口径φ1,000～φ300で総延長は約14.7kmである。本年度の契約水量は30,587m³/日(5/1現在)で7社の企業者へ給水している。

○事業の特徴

原水が清浄な伏流水であることから、浄水施設はなく取水したものをそのまま送水していること、事業開始が早かったことなどから、比較的安価な給水料金で事業経営ができています。また、水量・水質ともに安定しており、これまでの渇水時にも断水等の影響を受けたことはない。

○岡山市水道局のホームページアドレス

<http://www.water.okayama.okayama.jp>

○給水区域図

